

# 学校五日制が始まって



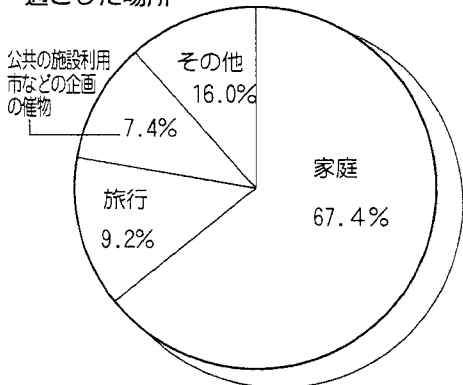
「学校五日制」なることが新聞紙上でにぎわったのが、桜の花芽もほころぶ三月末ごろでした。明治五年の学制公布以来の教育の大改革ということで、学校をはじめ社会全体の話題でした。

実質、今年九月に始まったこの制度は、文部省もいのように「直面する問題に対応しながら」進んでいく手探りの部分もあります。月一回第二土曜日に実施される変則的な形ですが、大きな問題もなく九月十二日にスタートしました。十月は体育の日と重なり、五日制としての休みではありませんでした。

学校五日制の目指すものは、欧米諸学校に比べ、時間的にもゆとりのない今の学校生活にゆとりをもたせ、児童生徒が健やかに成長することです。一般の会社勤めの方や公務員の方にも週休二日制が徐々に浸透し、学校五日制に対応する土壌ができつつあることも大事なことです。通勤を例にとっても、平日の通勤時間に吉田方面か

ら都留方面に向かう車は、東桂から田原の信号まで数珠つなぎで、夏狩の中央道側道まで、渋滞しています。ところが、土曜日になると渋滞の片鱗すら見られずスムーズに流れています。これも週休二日制の浸透に関わっています。ある市内の小学校での追跡調査によると、子どもたちの九月十二日の過ごし方は次のようなものでした。

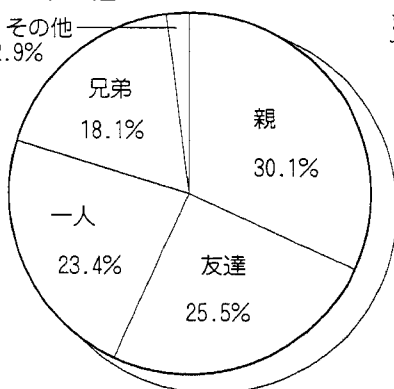
過ごした場所



子どもたちを家庭や地域に返し、ゆとりを子どもたちにもたらすことが、学校五日制の第一の意義です。この側面から考えると、第一回はほとんどの子どもが家庭や地域の中で過ごしました。また、土曜・日曜が連休になることで、家族で旅行に出掛けた子どもが全体

の一割近くを占めたことも、学校五日制の趣旨から考えると、大きな成果だと考えられます。中には、せっかくの休みに子どもと一緒に疲れたという方もいるとは思いますが、子どもたちにとって、とても楽しい一日であったはずだと思います。また、塾へ行く子はほとんどいませんでした。「公共の施設利用と市などの企画の催物参加」にスポ少参加者を含めると、社会教育に関係するものには、一三・四%の子どもが参加しました。地域の教育が叫ばれている中、ひとつの成果だと思えます。

だれと過ごしたか



さて、子どもたちがだれと過ごしたかも大切な問題です。前述の調査によると次のようになっていきます。

この中で一人で過ごした子どもが、全体の四分の一近くをしめています。しかもその内のほとんどが、家の中で過ごしています。遊びの内容はテレビを見たりファミコンをしたりして、自分の時間を

## 青少年健全育成推進大会 受賞者発表

十一月は、全国青少年健全育成強調月間でした。十一月六日には文化会館において、「都留市青少年健全育成推進大会」が盛大に開催されました。

に、自分の時間の充実が大人にとっても、子どもにとっても大切な問題になります。勉強も仕事も大事です。それに加えて生活にゆとりをもたらすことが学校五日制や週休二日制で求められています。ほとんどの子どもが、「楽しい」と思った「学校五日制」。大人がこれで疲れるようでは本場のゆとりとは言えません。子どもも大人もゆとりを取り戻すために、週末をもう一度考え直してみたいかがでしょうか。

### ◆標語の部(中学校)

優秀 東桂中学校一年

「親から子へ 子から親への信頼感」 上野亜由

佳作 都留第二中学校 二年

佳作 都留第二中学校 一年 佐野睦巳

### ◆優良子どもクラブ

(長期にわたり住吉球場およびその周辺の清掃等の美化活動を自主的に実施)

◆夏期ラジオ体操実施優良育成会

住吉育成会 久保育成会

菅野育成会 下細野育成会

横町育成会 宮下育成会

宮原育成会 玉川育成会 新井育成会

### ◆標語の部(小学校)

優秀 谷村第二小学校 六年 井上友香理

「うれしい時 やっぱいいな 家族つて」

佳作 禾生第二小学校 六年 田中彰人

佳作 禾生第一小学校 五年 鈴木亜弥